

## 第2回中心市街地活性化協議会幹事会における意見（報告）

第2回中心市街地活性化協議会幹事会において、第1回協議会・幹事会の意見を踏まえ「新富山市中心市街地活性化基本計画（案）」について協議した。  
主な意見について、以下に整理する。

### 1 全体の方向性について

- ・まちというのは24時間のサイクルで考える必要があり、昼と夜の顔に対応することが大事である。小さな店でもいいから、夜遅く開いている飲食店が集まっているとか、昼と夜の賑わいの場所をある程度誘導をしていくことも必要ではないか。
- ・国の認定を受ける部分としてはこれで良いと思うが、何か市民が夢を見られる総合的な計画が必要である。住民を増やすため、そして快適な生活をするためには何が必要なのか、それらを張り付けた場合のプランを作って、それに対して民間が投資していくということがまちづくりの条件だと思う。
- ・今回のまちづくり三法改正の中で一番大事なことは、まちに賑わいを取り戻すことであるとすると、大型店と商店街を共生させることをやっていかないと結果的にはうまくいかない。中心市街地には大型店とショッピングセンター、さらには専門店が融合し、その周辺に都心居住があって、富山市全体の品の良さというものをつくりだす。それこそが、中心市街地活性化のポイントではないかと思っている。

### 2 基本計画の事業内容について

- ・公共交通について、バスターミナル関係を加えてもらいたい。
- ・賑わいがあるまちの一番大きなポイントは、2核1モールというような、大きな核が2つあるいは3つあり、その間に商店街とかモールがあることである。売上げ200億円超を目指す大和だけでなく、旧西武や西町の北街区などにも同クラスの商業施設が欲しい。テナントを集める問題はあるが、自分たちのまちは自分たちで創るという観点からすると、ここに大きなショッピングゾーンをつくりたいのだと言うことをあえて基本計画に書いて、話し合っていきたいと思う。
- ・大和移転後の跡地事業化に向けた検討が基本計画の中に入っていないと、中心市街地全体の構想にならないと思う。
- ・賑わい横丁には、集客力のある店に出店して欲しい。食のチャレンジショップで5年も持たない事業にしてほしくない。一方、場所の有利性を考えると、同じ場所ですっと商売するというのも困るわけで、八戸では3年間とかで必ず入れ替えており、北見では基準以上に売り上げがないと入れ替えるなど厳しい条件になっている。
- ・基本計画申請時期というタイムリミットがある以上、今この場で話を煮詰めようとしても間に合わないのだから、計画認定を取ってから、次の段階の話を進めていけば良い。

### （富山市の意見）

- ・国の基本方針では、基本計画における事業の認定基準は、事業主体がはっきりしているもの、もしくはまもなくはっきりすること、又、スケジュールがはっきりしていることである。  
バスターミナルや大和移転後の跡地事業はこれから熟度を高めていく事業であり、国の考えを踏まえれば、記載は厳しい。一方で、これまでの経過がある大和移転跡地の取組については、例えば総論のようなところで記述ができるか国との調整の中で検討していきたい。

### 3 各事業における取組状況について

- ・30万人規模の都市で、ブランドショップがこれほど集積している都市は珍しい。同じ都市規模の川越や豊橋の商店街にはない。30分、40分程度で銀座や名古屋へ行けるころでは、買回りブランド品は成立しない。総曲輪ブランドプロジェクトとして、来年度には店をわかりやすくするために、店に番号をつけるなどして柱や床に表示する方法を検討している。
- ・賑わい交流館における集客目標数値は大変高い数値であり、責任重大と感じている。ウイズでは、何かやりたい、何か活動しようという人を集めている。そういう意味では、今一番欲しいのは、前向きな人材である。やろうとってくれる人が集まることが、ウイズで何かを生み出す力になっていくのだろう。また、ウイズだけが頑張っても目標は達成できないと思うので、周辺の商店街のショップとコラボレーションして、映画を通して楽しんでいただけるような仕組みを試験的に行っている。

### 4 答申案について

- ・答申案は、もう少し情熱というか、何とかして中心市街地をこうしたいという熱き想いの表現があってもいいのではないかと。協議会としては、富山市の中心市街地活性化基本計画がこうあって欲しいという想いが、文面的にはあった方がよい。
- ・大和移転後の跡地問題のようにこれからの事業については、今回、認定を受ける基本計画には盛り込めないことについても、協議会としては是非配慮されたいとか、あるいは必要なものであるから検討していきたいとか、答申案に盛り込めないものか。